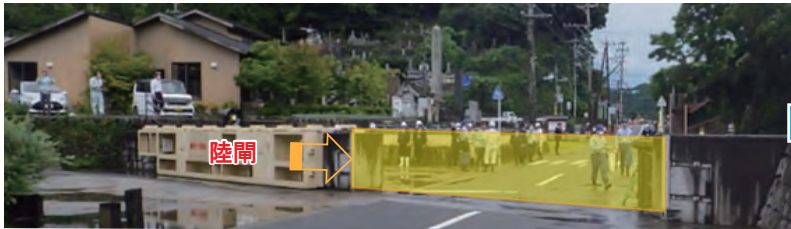


国土交通省 九州地方整備局
山国川河川事務所 R5.10 Ver1

河川整備等により災害を防ぐ取組みの効果

山国川圏域では、河川整備等の様々な災害対策を行っており、令和5年7月豪雨でも被害の低減効果を発揮しました。しかし、今後の気候変動でさらに豪雨が頻発すると、河川整備等だけで被害を防ぐことは難しくなります。

河川整備による治水効果の例(令和5年7月豪雨時)



陸閘の整備(洪水時にスライドさせて、堤防の機能を持たせます)



陸閘が効果を発揮し、山国川からの浸水を防ぎました！

全国で、まちの魅力を未来へつなぐ、みんなで守る「流域治水」始まる

気候変動に備え、これからも山国川圏域の恵みを受けて暮らしていくために、河川も含む圏域全体で、行政、住民、企業等、それぞれができる取組を行い協働する「流域治水」を進めていく必要があります。



簡単な取組からやってみませんか？



流域治水の主な対策(イメージ図)

① 氾濫を防ぐ・減らす	② 被害にあう人・ものを減らす	③ 被害を減らす・早期復旧・復興への備え
雨水貯留機能の拡大 雨水貯留施設、ため池、田んぼダム、雨水タンクなど 国・県・市・町・企業・住民でできる	リスクの低いエリアへの移転 土地利用規制、移転促進など 国・県・市・町・企業・住民でできる	土地のリスク情報の充実 水害リスク情報の発信など 国・県・市・町でできる
流水の貯留 治水ダム、利水ダムの調節、遊水池など 国・県・市・町・利水者でできる	氾濫範囲を減らす 二重堤防整備、自然堤防の保全など 国・県・市・町でできる	避難体制の強化 防災教育、長期予報、リアルタイム浸水把握など 国・県・市・町でできる
氾濫水を減らす 堤防強化、清掃活動(ゴミ拾い、側溝清掃)など 国・県・市・町・利水者・住民でできる	経済被害の最小化 工場や建築物の浸水対策など 企業・住民でできる	住まいの方の工夫 不動産取引時の水害リスク情報提供、保険など 企業・住民でできる
雨水タンク 	田んぼダム 	清掃活動
		校庭、公園、駐車場の雨水貯留施設

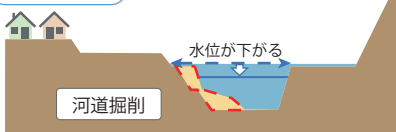
山国川圏域でも、流域治水、始まっています

山国川圏域では、河川・森林・農地等の特徴を捉え、次の3つの柱を基軸にして流域治水を進めていきます。

山国川圏域流域治水 3つの柱

柱1 河川の治水対策

河川整備



河道掘削や築堤整備などの河川整備により河道の流下能力を上げます。

河川の維持管理



堤防や護岸などの点検・修繕をします。河川内の樹木や堆積土砂が洪水の際に流れを妨げないように対策します。

柱2 流木・土砂対策

森林整備



間伐・育林等の適切な管理により保水力を保ち、流木や土砂が流れ出にくい森林を維持します。

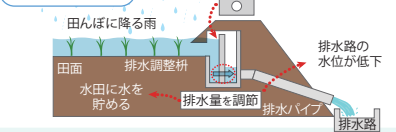
治山・砂防



山から流木や土砂が下流に流出しないように、治山・砂防ダムや流木捕捉施設を整備します。

柱3 小規模河川の氾濫抑制対策

田んぼダム



水田の排水口に調節板を設置し、一時的に水田に雨水を貯め、水路の水位上昇を遅らせます。

ため池・水路の活用



ため池や水路の水を大雨の前に放流して水位を下げ、雨水を貯められるようにします。また、排水施設で水路の水を速やかに河川に排水します。

